

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

近畿運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名            | ①補助対象事業者等 | ②事業概要  | 協議会における事業評価結果   |           |            |  | 地方運輸局等における二次評価結果   | 備考 |
|-----------------|-----------|--|---|-----------|------------|--|--|----|
|                 |           |  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   | 評価結果   |    |
| 生駒市地域公共交通活性化協議会 | 生駒交通株式会社  | <p>■R4.10.1～R5.9.30<br/>近畿日本鉄道(株)生駒線南生駒駅を經由する、南コミュニティセンターせせらぎ～暗峠間の1系統の運行</p> | <p>コミュニティバスの永続的な運行実現のため、以下の対策を実施し、交通不便地域での利用促進につなげた。<br/>・コロナ禍前と比較した利用者数の推移を踏まえ、沿線自治会と利用者増を目指した協議を行った。<br/>・「バス運賃100円DAY」と題して、西畑有里線だけではなく、コミバスを含めた市内路線バスすべてを1乗車100円で乗車可能なイベントを令和5年8月3日～5日に実施し、普段利用しない方にも、利用するきっかけを作る取り組みを行った。</p> | A         | B          | <p>当地区での生活交通の確保や地域の活性化という目的を達成するためにも、コミュニティバスの永続的な運行が求められるところであり、その実現のため、以下のような対策を継続し、交通不便地域での利用促進につなげる。<br/>また、系統全体での利用率にも着目し、交通不便地域以外の地域での利用の促進も図っていく。<br/>・沿線自治会において、コロナ禍前と比較した利用者数の推移や、日常利用のための利用例を記載したチラシの配布を行い、利用の呼びかけを行う。<br/>・市ホームページや広報紙を活用したコミュニティバスの周知<br/>・利用するきっかけをつくるイベントの実施</p> | <p>目標・効果が達成できなかったものの、公共交通の利用啓発を実施するなど、利便性を向上させたことは評価できる。<br/>バス運賃100円DAYなどを実施しながら、引き続き、利用促進されることを期待する。</p> |    |